



轉換促進型CB(貸株なし)発行に関する解説資料

2005年3月24日



For-side.com



For-side.com Co.,Ltd.

Copyright (C) 2005 For-side.com All Rights Reserved

For-side.com

For - sideグループは、圧倒的な将来価値を築くため、
今このタイミングで500億円の資金調達を行い、
早期に戦略的M & A・事業投資を行います。

今回の資金調達では、昨今の株価動向、他社事例を
十分に検証し、株価への影響を考慮した結果、
“貸株なし”の転換促進型CBを発行します。

本資料にて詳細にご説明させていただきます。

- 掲載情報について -

本資料に記載されている内容には、将来の見通し、当社による見解が含まれていますが、内部的・外部的リスクによって実際の予想と大きく異なることがあることをご了承ください。尚、当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性が含まれていることをご留意ください。

将来価値の創造

- 投資指標 -

- 早期に投資した資金を回収する
- 多面的ビジネスモデルの構築
- 高成長市場にて事業を展開

これまでFor - sideは、3つの投資指標の「高成長市場へ投資する」「高収益な事業にする」「早期投資回収を実現する」に沿って、待受け・着メロといったモバイルコンテンツ事業に特化して業績を伸ばした結果、業界トップクラスとなる企業価値に成長させることができた。

今後は、早期に回収した資金にて、獲得したコンテンツ資産や顧客資産を活用して多面的にビジネスモデルを構築する。高成長となる市場にて事業展開することで、将来のFor - sideグループの将来価値を生み出す。

将来価値を創造、企業価値の最大化を目指す。

- For - sideグループの3つの資産の増強 -

□ **今このタイミングで資金を調達し、早期に多面的な
ビジネスモデルを構築する**

投資先

コンテンツ資産アプローチ

顧客資産アプローチ

クライアント資産アプローチ

各資産アプローチを増強することで、
For - sideの将来価値が最大限に
創造できるものと考えております。

今回の調達資金は、デジタルコンテンツ
の世界流通網の構築及びシナジー効果
が見込める企業をM & Aする為に充当
する予定でおります。

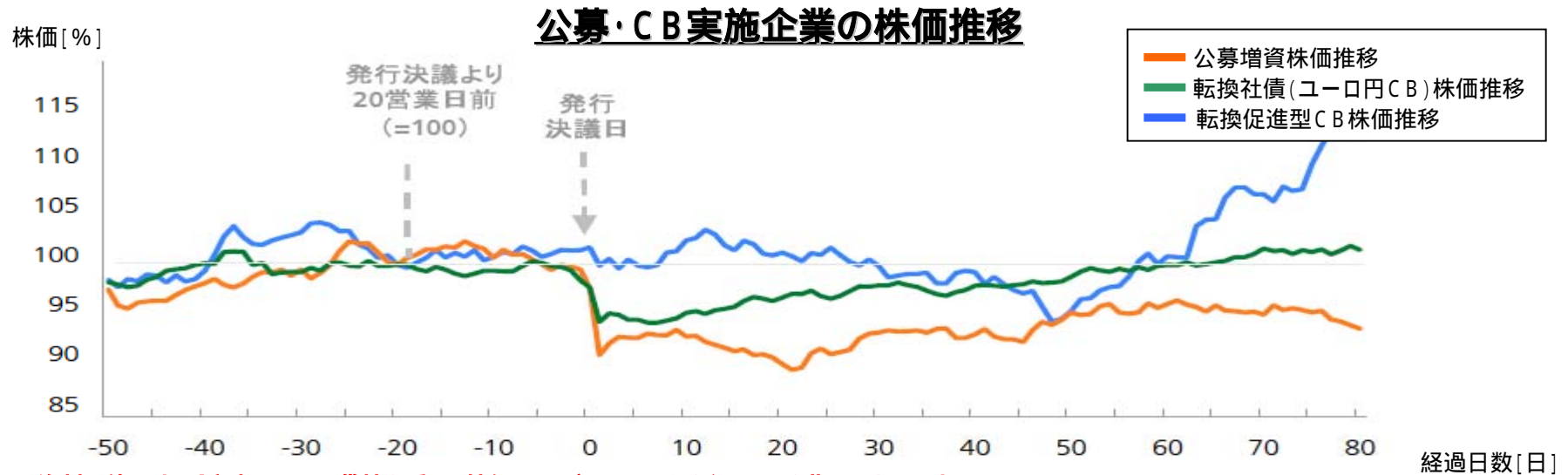
**調達した資金にて戦略的M & A・事業投資を行い、
収益を増大させつつ、将来価値を最大化する。**

資金調達手段の選定

資金調達手段の近況

- 資金調達の主な手段 -

1. 公募増資による資金調達
2. 転換社債(貸株あり)による資金調達



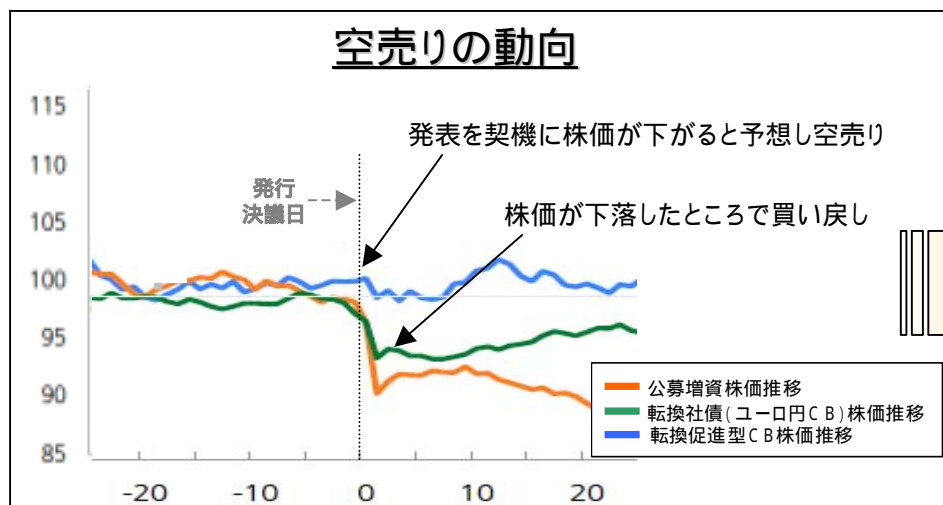
この資料で使用する「空売り」とは、貸株を受け、株価の下げによりサヤを得ることを指しております。

公募増資や転換社債(貸株あり)の場合、決議日以降、株価が新株発行による希薄化以上に急落するのは、空売りによるものと分析。

空売りのしくみ

- 空売りが行われる背景 -

空売りを行った場合、公募増資では販売された新株にて、
転換社債(貸株あり)ではCBを転換した株にて買い戻し、
サヤ(利益)を得る行為が行われているものと想定する。



空売り後の流れ

公募増資 新株で買い戻し
CB 転換した株で買い戻し

この資料で使用する「空売り」とは、貸株を受け、株価の下げによりサヤを得ることを指しております。

公募増資や転換社債(貸株あり)を今実施した場合、
空売りを防がなければ株価が急落すると判断。

轉換促進型 C B (貸株なし) の発行

転換促進型CB(貸株なし)

- 株価急落を防ぐことを考慮したCBを実施 -

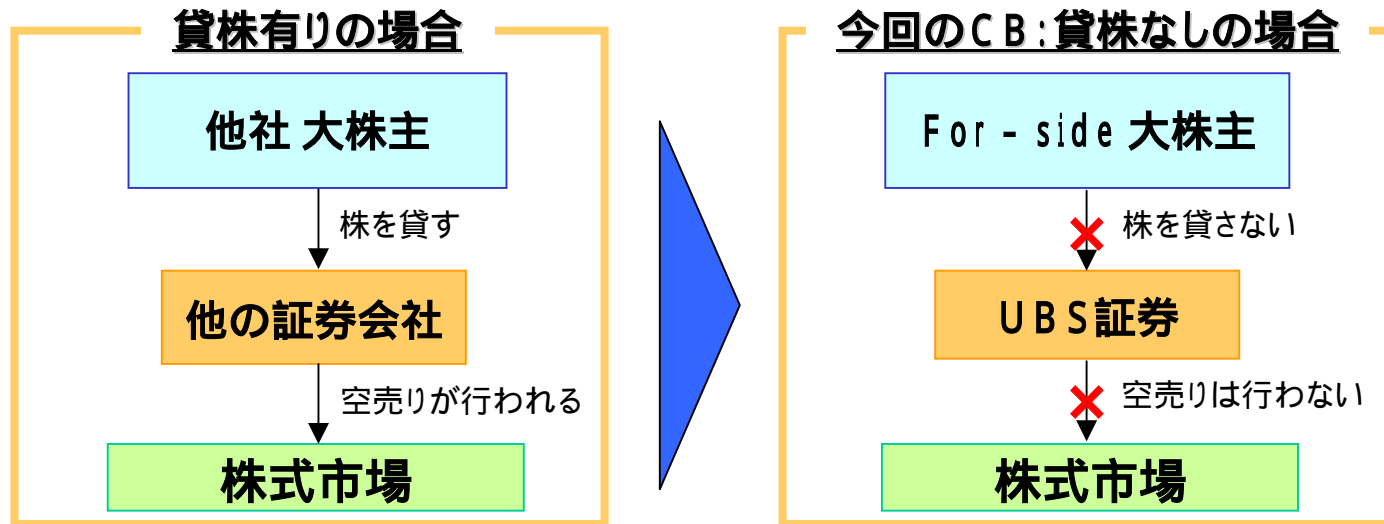
発行条件

発行金額:	500億円 (額面1億円)
募集方法:	第三者割当形式により、全額をUBS AG London Branchに割当
満期:	1年
発行価額 / 償還価格:	100円 / 100円
クーポン:	なし
当初転換価格:	発行決議日の終値
転換価格の修正:	毎週金曜日から遡る5連続取引日のVWAP平均値の92%に修正(小数第1位四捨五入)
下限転換価格:	発行日(4月11日)終値の50%
上限転換価格:	発行日(4月11日)終値の150%
発行体のコール・オプション:	2営業日前までに事前通知することにより、いつでも100円で繰上償還可能
UBSのプット・オプション:	2営業日前までに事前通知することにより、いつでも98円で繰上償還可能

貸株なしのCBを発行することで資金を調達しつつ、
株価急落を阻止する。特長を次ページより解説。

- 特長1 -

For - sideとUBS証券との間にて、UBS証券は空売りを目的とした借株を一切行わない契約を締結



For - sideは、UBS証券と同社が借株にて空売りを行わない旨を取り決めております。

この資料で使用する「空売り」とは、当社より貸株を受け、株価の下げによりサヤを得ることを指しております。

割当先のUBS証券は借株にて空売りを一切行わない！

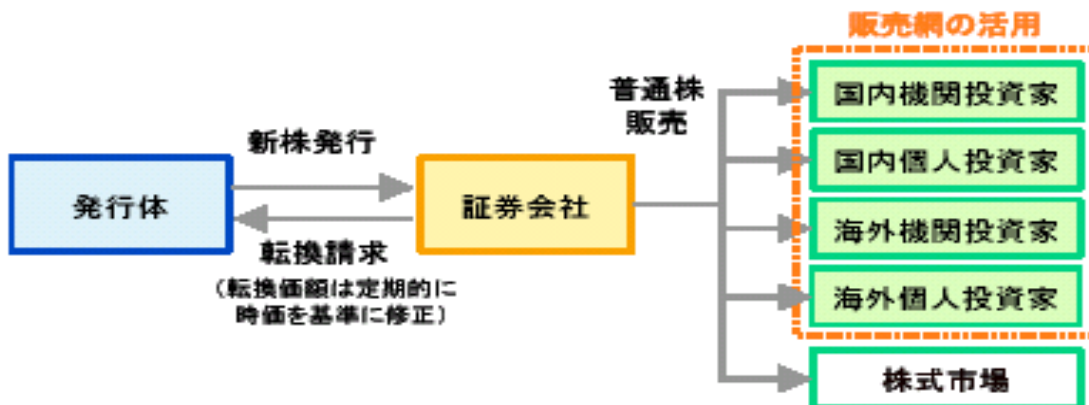
- 特長2 -

UBS証券はCBのまま第三者に転売しない

発行時



転換時



第三者にCBの転売を行わないことで、短期売買を目的とした第三者への転売を阻止。

- 特長3 -

株価が急落した場合にはコールオプションの行使を検討

今までのCBで多かった条件

発行価額100円

例) 発行体のコール・オプション
103円で償還

CB中止時、手数料が発生
株価が急落しても継続する傾向がある

今回のCBの条件

発行価額100円

発行体のコール・オプション
100円で償還

CBを中止しても手数料はなし
従来のCBに比べコールの行使が容易

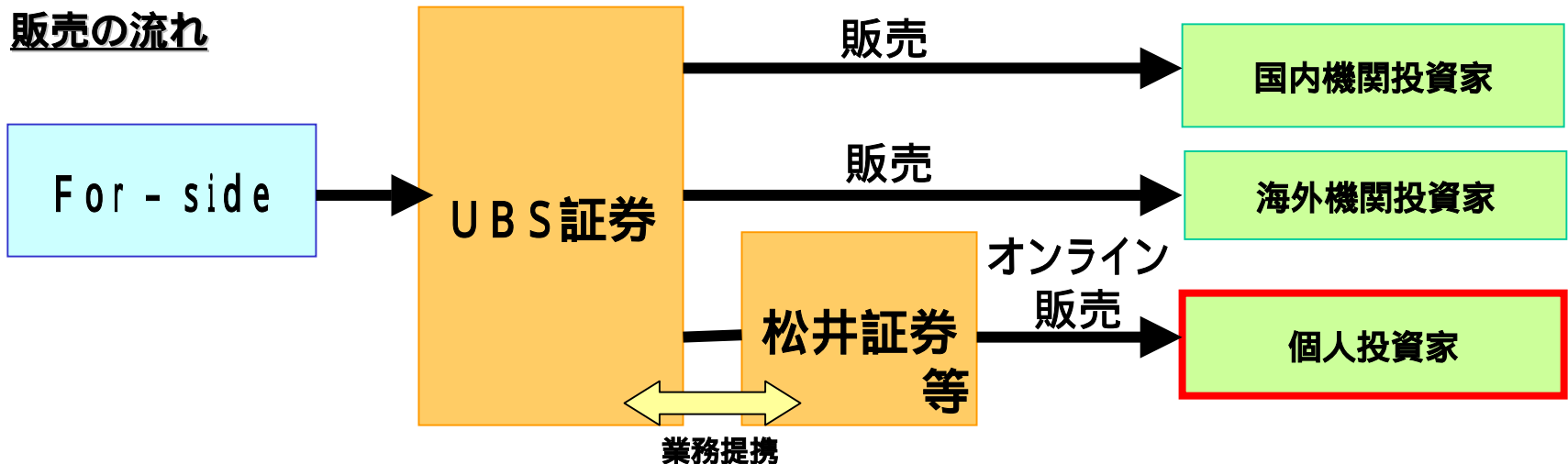
万一が一株価が急落した際は、市場動向を踏まえコールオプションを行使し、株式の供給を止めることで、安定した株価まで戻すことを図ります。

株価急落の際には本CBの“コール手数料なし”のメリットを生かして、本CBを早期償還する検討を行う。

- 特長4 -

UBS証券の世界最大級の株式販売網を活用して販売

販売の流れ



UBS証券は、国内外の機関投資家へ強い販売網を有しております。
また、松井証券等との業務提携により、個人の方に向けても強い販売網を獲得しました。
オンライン販売の実施時期に関するお問い合わせはUBS証券までお願いいたします。
UBS証券会社 株式本部 金融商品部 03 - 5208 - 7823 (平日9時~11時、13時~15時)

長期保有が期待できる株主作りを目指します。

本 C B に関する Q & A

転換社債型新株予約権付社債とは何ですか？

- ・平成13年の商法改正により、平成14年4月1日以前に発行されたものは「転換社債」として存在しますが、同様の商品性を持つものとして平成14年4月1日以降は、「転換社債型新株予約権付社債(以下、CBと省略)」となりました。
- ・CBは、新株予約権が行使されない間は当社の負債として計上され、新株予約権が行使されて株式に転換された場合は、資本として計上されます。

本CBの発行の狙いは何ですか？

- ・大型の資金調達するスキームがいくつかある中で、本スキームによるCB発行は、株価インパクトが最も緩和できるスキームであると考え、また、将来の株主資本拡充の観点からも、最良であると判断いたしました。
- ・今回の資金調達により、財務体質をより一層健全なものとするだけでなく、弊社が目指す将来価値の創造を早期に実現させるべく、デジタルコンテンツの世界流通網の構築及びシナジー効果が見込める企業を戦略的にM & Aを行うための資金となるものと考えております。

なぜ、このタイミングに発行するのですか？

- ・市場環境が比較的堅調であることから、今このタイミングで資金調達を行い、将来価値の創造を早期に実現させることで、当社が掲げるデジタルコンテンツの総合流通業の世界トップ企業を目指します。

本CBのスキームを採用したのはなぜですか？

- ・効率的な資本調達、経済的なメリット、発行条件等の柔軟性、発行による株価への影響、機動性等を総合的に判断し、本スキームによる発行を選択しました。

本CB発行は、御社にとってどんなメリットがあるのですか？

- ・本CBは、公募増資や第三者割当増資のように一時点で大量に新株を発行するものではありません。今回のような大型の資金調達であっても時間を掛けて新株を発行することで、株価への影響を最小限に抑えることができると考えております。

昨今話題になっているCBと同様のスキームになるのですか？

- ・異なります。大きな違いとして今回割当先となるUBS証券には貸株を一切せず、CBの転売も行わないことになっております。また、UBS証券は、強固な販売力・資本力・信用力があり、コールが機動的に行える点が他社と異なる点として挙げられます。

UBS証券に貸株はするのですか？

- ・貸株は一切行いません。昨今話題になっているCBと大いに異なる点になります。

メインバンクはどんな反応を示していますか？

- ・本CBの転換による資本増強は、当社にとって財務上プラスになることから、ご賛同頂けると考えております。

今後も同様のエクイティ・ファイナンスを考えていますか？

- ・現段階では予定しておりませんが、今後の市場環境・資金ニーズ等を見ながら適宜判断していきます。

どうしてUBS証券を割当先に選んだのですか？

- ・本CB発行については、UBS証券の世界最大級の株式販売網・資本力等を総合的に勘案して割当を決定いたしました。スムーズな転換による株主資本の早期充実が実現される一方で、株価への影響を抑えつつ、当社の株式が国内外の幅広い投資家層に販売されることを期待しております。

UBS証券は、割当を受けた新株予約権付社債を第三者に販売するのですか？

- ・新株予約権付社債の第三者への販売は行いません。

UBS証券が転換により取得する株式は、松井証券の顧客(個人)にも販売されていくのですか？ 具体的な日程は決まっていますか？

- ・オンライン販売の実施時期等についての詳細はUBS証券に直接お問い合わせ願います。
UBS証券会社 株式本部 金融商品部 03 - 5208 - 7823 (平日9時～11時、13時～15時)

発行条件について、説明してください。

- ・今回発行したのは転換社債型新株予約権付社債で、発行総額は500億円です。詳細につきましては、3月24日に発表いたしました「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(適時開示)」をご参照願います。

転換条件について、説明してください。

- ・当初転換価額は105,000円とし、別途転換価額の修正条項が付されております。詳細につきましては、3月24日付「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(適時開示)」をご参照願います。

転換価額の修正について、説明してください。

- ・新株予約権付社債の発行後、毎週金曜日の各翌取引日以降、転換価額は、当該金曜日までの5取引日のVWAP(出来高加重平均価格)平均値の92%相当額に修正されます。ただし、上限は4月11日の終値の150%、下限は同50%となります。詳細につきましては、3月24日に発表した「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(適時開示)」をご参照下さい。

コール条項及びプット条項について説明をお願いしますか？

- ・コール条項とは、当社の選択において予め定められた事前通知を条件に、100円で繰上償還可能な権利が発行者である当社に付与されているものです。同条項の行使については、今後の状況を踏まえながら適宜判断して参ります。詳細につきましては、3月24日に発表いたしました「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(適時開示)」をご参照願います。
- ・また、プット条項とは、割当先の選択において、予め定められた事前通知を条件に、98円で繰上償還可能な権利が割当先であるUBS証券に付与されているものです。

今回の条項で本CBをUBS証券に割当てることは、UBS証券に有利にはなりませんか？

- ・本社債の利率、転換価額等の諸条件の決定に関し、現在の市場環境から総合的に判断し、割当先に有利な発行でないと考えております。また、同様な意見を弁護士からも頂いております。
- ・本CBの発行条件は様々な項目を総合的に勘案して決定したものであり、個別項目の有利性についてのコメントはいたしかねます。

本CBを発行することで株価は下がりにませんか？

- ・昨今の公募増資や貸株ありによるCBでは、発行決議日より発行済株式の増加による希薄化以上に株価が急落する傾向が見受けられます。そこで、今回のCBでは、貸株をなしにし、コールオプションの手数料をなくし機動性を高める等して、株価への影響を最小限に抑えております。また、株主資本増強による財務体質の強化等により、中長期的には株価に対してプラスの影響の方が大きいと考えております。
- ・当社は今回の資本増強により収益力を高め、株主価値の向上を図ってまいります。

既存株主の株主価値は守られるのですか？

- ・普通株への転換が進む場合、株価変動を反映した転換価額によって、新株予約権の行使がなされていきます。従って、既存の普通株の価値は守られていると考えております。

希薄化の影響についてどのように考えていますか？

- ・転換の進展により株主資本を拡充し、成長戦略への積極的な取り組みにより利益成長を達成することで、中長期的には既存株主の利益に繋がるものと考えております。

おわりに



For-side.com

*For - side*グループは、今後も高い成長率を実現させ、
デジタルコンテンツの総合流通業の世界トップ企業を目指します。